

潮寿荘 だより 石岡栄子



令和2年1月16日発行
発行：特別養護老人ホーム
潮 寿 荘
記事：1月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：石岡栄子(88歳)



今年もあつという間に12月になりました。皆さんは12月と言えば何を思い浮かべますか。僕は「クリスマス♪」と言いたいところですが今までクリスマスに良かった思い出がなかったの... 僕の12月と言えば『水仙』です。香り、見た目、花言葉、育てやすさ、全てが最高です。機会があればぜひ皆さんも気にして見て下さい(12月〜4月まで見れます) 12月と言えばもう一つ『クリスマス』。潮寿荘でも12月21日クリスマス会を行いました。今年のクリスマス会は、歌、歌、歌づくしでした。まず始めに台湾から来た二人『蘇さん姚さん』によるギターとウクレレ

乾杯の挨拶 司会の
正則さん と 介護士 泉(け)



弾き語りの『赤鼻のトナカイ』『ジングルベル』。マイクの調子が悪く聞き取りにくいながらも入居者さん大満足。次は『末日聖徒イエスキリスト教会』の皆さんによるキャロリング。おなじみのクリスマス曲を美しいハモニーで。最初の2人と同じ曲もあつたのですが違う味わいでうっとり。最後はメインゲスト、クラウンレコードの歌手『中村時子』さんによる歌謡ショー。流石プロは声の通りが

クリ子さんはフルーツの盛り合わせからイチゴを選びました



時子さんと握手をかわす 静子さん(小)



歌も終わり会食が運ばれてくると「お、ごはんか!」と忘れていた人「お、ごはんと来たか」と言う人もいました。僕は「自分も早くご飯食べたいなあ」と思いながら皆さんの食べ

中村 時子 さん



実は入居者 アサさんの姪子

芳蔵さん



↑ 寿幸さん

黙々と食べる 入居者さんたち

ツヤさんは嬉しそうに ケーキを食べています



食べた後はみんな「もう寝る」との事で、ベッドでぐっすり、おやすみ。僕も仕事が終わった後、ご飯を食べる支度をし、サンタさんが来るよう欲しいものを紙に書いて置きました。 (サンタさん『時間』と『調理師資格』を下さいと願った介護士・高橋)



たい物をよそい食べて頂きました。特に人気があつたのはチキンとエビフライでした。その後デザートケーキを

波乱の餅つき 2019



12月26日、潮寿荘・潮太郎合同で餅つきを行いました。施設長の挨拶から始まり、餅つきスタート!! 皆さんに餅をついて頂いて頂いたがハプニング!! 次の日の餅米が間に合わない! 厨房からあと10分... 急遽、皆さんに歌を歌って頂き場を盛り上げます。台湾メンバー4人による台湾のおめでたいときに歌う歌、そして次は北川相談員が歌う事に。潮寿荘で北川相談員の歌を聴いたことのある人は知っていると思います。が：ウマカツタデス(棒)(笑)そして2度目のハプニング 厨房からさらにあと10分... の声。皆さんさらに歌い続ける事に... この後6曲ほど歌ったところで餅米が蒸し上がりました。またまたここでハプニング、熱々の米を機械に投入したところ、(餅つき器で餅米がある程度固まっからついていているそうです)機械が

回っていたため餅米散乱! あちこちから『あ〜っ』という悲鳴? そこで散乱した分はあきらめ、男性職員が最初から本気でつくぞ〜『ヨイショッ!』と力強く餅をつきはじめ、ある程度形が決まってきたところで入居



正則さん はちまき 似合ってます

2月の予定

- 5日 外部講師花クラブ
- 6日 誕生会
- 10日 鍋会食(ごこ)
- 11日 建国記念バイキング
- 19日 外部講師花クラブ
- 24日 鍋会食(ごこ)
- 25日 OT来荘(作業療法士)

3日 節分 特別喫茶 (ホップコーン)



寒い季節はやっぱり鍋、潮寿荘の鍋レパートリーは色々あり、辛さとコクがあるキムチ鍋やカレー鍋に薬味とコクの薬味白湯鍋、具沢山の石狩鍋など様々。今年も11月から月2回の鍋会食がはじまり、12月は私のお気に入りのキムチ鍋で辛みが癖になる味。入居者の皆さんにも大好評! 「うあ〜辛、でも美味しい〜」と、はらはらしながら食べる静子さん。 「これ辛い」と辛みがちよっと苦手な宮キヨさんは1杯でダウン。そんな中、明子さんは細身でスタイルがいいのとは裏腹に食欲がすごい! 「どうですか? 美味しいですか?」と

楽しみな鍋会食

【昼食の様子】



キヨさん(柳) 静子さん(小)

者さんたちにバトンタッチ。 いろんなハプニングがありました。お餅は無事につき終わり、つきたてお餅を「あんこ」「じま」「きなこ」につけて皆さん頂きました。 沢山の障害を乗り越えて食べたお餅は美味しさもひとしおでした。 (正月休みで増えた2kgを仕事を頑張り元に戻した気合いの介護士・幸)

語りかけるも、「うんうん」と下を向いたままうなずくだけで黙々と食べ続け、私が見る限りでは3杯はおかわりし、おなか一杯になったところ。 「あ〜美味しかった」と満面の笑顔。これだけ食べてもスタイルの変化が少ない明子さん。私の場合は食べた分だけしっかり身になる始末。食べ終わった真佐子さんに「いやあ、ぶくぶくしてたくましいね。何キロ?」とグサリとくる褒め言葉をかけられ、その日の職員給食から量を控えるようになりました。今まで内緒でしたけど (体重計が世の中で一番怖い乗り物) (笑)



静子さん(原)